

平成29年度

事業計画書

平成29年4月 1日から

平成30年3月31日まで

公益社団法人 滝川スカイスポーツ振興協会

基本方針

わが国では、少子高齢化が顕著となり、当協会においても若い人々の割合が減少する傾向にある。さらに、スマートフォンの普及やゲームに興じる時間が増えたことにより、一般市民の屋外での活動が少なくなる傾向にあり、スカイスポーツ振興を目的とする当協会を取り巻く状況は、厳しさを増している。それらを考慮しつつ、健全な協会経営と次世代に対する啓発などの投資的事業を両立させ、公益法人としての使命を全うするとともに、国内のグライダー活動の先導的役割を果たすことでスカイスポーツの振興を図る。

事業活動

- I グライダーの操縦・整備技術の伝承と指導者の養成事業（公益目的事業1）
初心者から指導者までの広範にわたる愛好者に対して、技量や要望に応じた各種の魅力あるメニューを実施して、飛行技術の伝承、整備技術の伝承・支援および指導者の養成を図る。
1. グライダースクールにおける操縦に関する指導
- ① グライダースクール
- ・サマートレーニングコース
7回実施する（各15名程度）
なお開催期間は1回5日間（月曜日～金曜日）の設定とする。
第1回：6月12日～6月16日 第5回：9月11日～9月15日
第2回：6月26日～6月30日 第6回：9月25日～9月29日
第3回：8月7日～8月11日 第7回：10月2日～10月6日
第4回：8月28日～9月1日
 - ・ウィークリーコース シーズン中の平日に随時実施する。
 - ・ウィークエンドコース シーズン中の土日祝日に実施する。
- ② グライダーキャンプの受入
- ・大学生及び社会人の合宿誘致を図る。
他団体受入期間：7月31日～8月4日
8月14日～18日
2. たきかわスカイパークを利用する航空機に対しての整備支援
協会所有の整備施設を活用して、常駐または外来航空機の整備支援を行う。
3. 特定操縦技能審査
自家用操縦士（滑空機）に対する特定操縦技能審査を実施する。
4. 滝川グライダー競技講習会2017
クロスカントリー飛行やグライダー競技飛行などの、高度な飛行を実施する

上で必要とされる基礎的知識や技術を習得するための講習会を実施する。
(スポーツ振興くじtoto助成金申請中)

・実施期間：5月22日～6月4日

5. 各種受験に関する指導

- ① 航空従事者技能証明等の試験に関する指導及び実地試験の受入
対象資格：自家用操縦士（滑）上級・動力、操縦教育証明（滑）
実地試験予定時期：10月
- ② 日本滑空記章、国際滑空記章に関する指導及び試験の実施
実施時期：不定期

6. アシスタントインストラクター制度

操縦教育証明（滑）取得希望者に対し、有資格者とのグライダー互乗などを通して、アシスタントインストラクターとして経験を積み重ねることで、操縦教員の養成を推進する。

7. 各種講習会の実施（講師派遣）

- ① 愛好者を対象としたスカイスポーツ講習会の開催
- ② スカイスportsを対象とした各種講習会への講師派遣

8. 国際交流事業の推進

- ① 操縦教員の派遣
冬季間、南半球を訪れる日本人に対し、ニーズに合致した教育支援を現地

グ
ライディングセンターと協同して実施するとともに、今後滝川において競技会を開催する場合のノウハウを蓄積する。

期間：平成28年12月～平成29年2月、各3週間程度

派遣先：オーストラリア及びニュージーランド

派遣者：操縦教員2～3名

- ② 曳航パイロットの招聘

各種飛行事業を円滑に行うために、曳航パイロットを招聘する。

期間：5月下旬～10月中旬、のべ21週間

招聘先：オーストラリア

招聘者：2名

- ③ 世界のトップレベルのグライダーパイロットの招聘

北海道のグライダーにおけるクロスカントリー飛行の可能性をさらに広げ、将来実施を予定する日本選手権開催のためのノウハウ蓄積のために、世界的に活躍するグライダーパイロットを招聘する。

期間：5月中旬～6月中旬

招聘者：ギャビン ウィルス（ニュージーランド、オマラマ滑空場）

滝沢 信三（オーストラリア、ナロマイン滑空場）

9. 国内滑空団体との連携

国内の滑空団体と連携を進め、人的交流や情報交換を促進し、滑空スポーツ

の

活性化や安全対策の強化を図る。

- II スカイスports啓発事業（公益目的事業2）
若年層へのスカイスportsの普及を図ると同時に、近隣小中学校などの教育機関及び航空青少年団体との積極的な連携を図る。また、現在使用されているグライダーのみならず、ヴィンテージグライダーが一般市民の目に触れる機会を増やすことで、グライダーの知名度向上を図る。
1. 児童・生徒を対象とした体験学習の受入
- ① 滝川市内全小学校の4～6年を対象に、各校1～2学年の児童のグライダーや軽飛行機による体験学習を行うとともに、周辺市町小学校への対象拡大を進め定着化を図る。
時期：6月～7月及び10月
- ② 小中学校の児童・生徒の体験学習及び施設見学を受け入れる。
時期：随時
2. こどもの日イベント「こどもたちに大空のプレゼント」の開催
道内の子供たちを対象に、軽飛行機、モーターグライダーやグライダーの体験搭乗及び紙飛行機教室を実施する。
開催日：5月5日（火）
対象：道内の小学生
予定人数：体験飛行55名（来場者500名）
3. ジュニアグライダークラブ／青少年会員の活動
地域の小中高校生を対象に、空に接する機会をつくと同時に、グライダー縦練習活動を充実させる。また、グライダー愛好者の底辺を広げるため、青年会員の増を図る。
- ① ジュニアグライダークラブ会員：10～14歳の児童・生徒
② 青少年会員：14～18歳の生徒
4. ユース会員の支援
学生および大学を卒業した後も社会人クラブでグライダー活動を継続しようとする若手を支援する。
年齢：18～26歳
優遇措置：入会金免除、会費・サマートレーニングコース参加費等の割引
5. 古典グライダー活用事業（ヴィンテージグライダー復旧プロジェクト）
全国の古典機愛好者と連携して、航空文化財として歴史的価値の高いヴィンテージグライダー（古典機）の国内唯一の修理・展示・飛行を総合的に行える施設の整備を追及するとともに、世界の古典機クラブとの連携を模索する。
- ① ヴィンテージグライダー（シェンプ・ヒルト式Gö3ミニモア及びヨゼフ・オベラーヒナー式MG19シュタインアドラー）の耐空証明取得、デモフ

ラ

イトの実施

- ② イベントにおいて、飛行展示、地上展示を行い、ヴィンテージプロジェクトの広報の実施
- ③ 体験飛行会の実施
- ④ 「ヴィンテージグライダー復旧プロジェクト」報告会の開催
- ⑤ VGC（世界のヴィンテージグライダー統括団体）との連携
- ⑥ 関連資料の分類・整理・公開

6. 航空青少年団体との連携

航空少年団や宇宙少年団と連携したプログラムを実施する。

対象：未定

内容：体験飛行・スチレングライダー作製・イベントへの招待等

時期：未定

7. イベント支援

道内各地で行われる航空祭に積極的に参加し、グライダースポーツ及び「スカイスポーツのまち滝川」の周知を図る。また、一般のイベントにも積極的に

加する機会を求め、広くグライダーの周知に尽力する。

① 2017北海道スカイスポーツフェア

開催日：9月3日（日）

場所：スカイポート美唄

主催：（公社）北海道スカイスポーツ協会

支援内容：未定

② 千歳基地航空祭

開催日：未定

場所：航空自衛隊千歳基地

主催：航空自衛隊

支援内容：未定

8. スカイパーク施設の管理・運営

「たきかわスカイパーク」の指定管理者として、施設運営及び事業を展開する。

Ⅲ 地域振興に寄与する事業（公益目的事業3）

滝川市及びたきかわ観光協会と連携して、「空」をテーマとした体験型観光事業

を

推進するとともに、地域振興に寄与する事業の展開を積極的に図る。

1. サマースカイフェスタ2017

開催日：7月30日（日）

場所：たきかわスカイパーク

共催：滝川市、（一社）たきかわ観光協会（予定）

動員目標数：6,000人

飛

2. M-02J（宮崎駿氏原作のアニメ作品『風の谷のナウシカ』に出てくる架空の

行機「メーヴェ」を模した自作飛行機）の慣熟飛行の支援

開催日：5月～10月（時期未定）

場所：たきかわスカイパーク

内容：・M-02Jの格納庫内での展示

・M-02Jによる慣熟飛行（朝8時～9時半：ただし天候による）

3. 観光客等の受入

フライトシーズン中、体験飛行を積極的に受け入れる。

① 地域の飲食店や宿泊施設と連携したプログラムを企画・実行し、情報発

信

力を高める。

② 滝川市、（一社）たきかわ観光協会の動きと連携し、東アジアからの旅

行

客を誘引する観光プログラムを実施する。

③ 美唄市や富良野市など近隣エリアのスカイスポーツ体験事業者と連携し、空の体験を希望する観光客への訴求力を高める。

④ インターネットによる予約システムの活用・充実に努める。

4. グライダー等による体験飛行会の実施

① 滝川市民対象

実施期間：7月26日（水）～7月29日（土）

予定人数：400名

② 一般市民対象

実施期間：4月下旬～11月上旬の間に随時

予定人数：1,000名

③ 滝川市ふるさと納税への協力

滝川市が実施しているふるさと納税の返礼品として、グライダー体験飛行券を提供する。

5. 「そらぷちキッズキャンプ」の支援

（公財）そらぷちキッズキャンプが実施する、難病とたたかう子どもたちを対象としたキャンプのスカイスポーツ体験プログラムやツアープログラムに協力する。

IV スカイスポーツに関する調査研究事業（公益目的事業4）

1. スカイスポーツ関連の情報収集・発信

問

海外のグライダー界の状況や、国内の愛好者の動静に注意を払い、国内外を

わず、多くの機会・媒体を捉えて、積極的に情報の収集・発信を行う。

① ホームページを最新の情報、一般の人にも認知されやすい内容にしてい
くとともに、フェイスブックや掲示板を活用した情報発信を行う。

② 国内外のグライダークラブとの連携

ブ
を

(公社) 日本滑空協会、北海道滑空協会を支援しつつ、グライダークラ
ミーティング等の情報交換の場に積極的に参画し、国内のグライダーク
ラブとの情報交換を密に行う。また、海外のグライダークラブとの連携
を図り、グライダー操縦技術・安全対策の向上のための情報収集を行う。

- V フライトサービス局による航空情報提供事業（公益目的事業5）
たきかわスカイパークを利用する航空機、及び周辺上空を飛行する航空機に対し
て、気象情報や航空交通情報の提供等、必要な飛行支援を行う。
- VI 利用者への施設提供事業（その他の事業1）
たきかわスカイパーク利用者の満足度を高めるため、各種の施設提供事業を行う。
- ・スカイスポーツ愛好者への宿泊施設の提供
 - ・たきかわスカイパーク来場者への飲食物の提供
 - ・スカイスポーツ関連の物品の販売

航空安全

スタッフ、会員及び飛行関係者の安全意識を喚起して、危険に対しての的確な見積り
と、
基本的で確実な危険回避動作を実施し、航空無事故を目指す。

無事故目標： 1,036日

管理部門

- 1 会員
各種イベント等を通じ、個人会員の入会勧誘を積極的に進める。併せて、近隣市
町
に所在する個人・法人に対する当協会への理解を深めていただくよう働きかけると
同時に、正会員・賛助会員への入会を積極的に勧めていく。
- 2 公益社団法人の運営に関する情報公開
ホームページを活用して、当協会の運営に関する情報公開を積極的に進める。
- 3 業務執行体制の整備と強化
地元企業との連携を深くし、互惠関係を強化していくと同時に、業務管理体制を
充
実させ、運航体制の強化を図る。また、ボランティアスタッフの協力を得ながら、
各種事業の円滑な実施を目指す。
- 4 その他
航空機燃料、整備資材や各種保険料等の価格上昇にともなう収支の均衡を保つた

め、経費節減に努めると同時に、取捨選択による効率的な資源の活用を図る。